



わが国は80歳以上の人口が、 初めて10%以上の長命の国になった

日本血管内治療学会 名誉理事長 岡田 昌義

2023年9月、わが国の80歳以上の人口が、初めて10%以上の長命の国となった。9月18日の「敬老の日」に合わせて、総務省の報告によると65歳以上の高齢者の人口は3,623万人であり、全人口の29.1%と過去最高を更新し、世界一となった。

この内、80歳以上は27万人増の1,259万人でその割合が10.1%と初めて10%を超えた。65歳以上の56.6%は女性であり、2,051万人で将に平均寿命の長さを反映し、男性1,572万人を大きく上回っている。

総人口の占める高齢者の割合29.1%を、各国と比較すると、1位：日本29.1%、2位：イタリア24.1%、3位：フィンランド23.3%と、わが国がとにかく突出している。

一方、75歳以上では、72万増の2,055万人で総人口の16.1%を占め、2,000万人を上回るのは最初である。

1947年から1949年生まれの第一次ベビーブーム世代が75歳を迎えているのが影響している。

高齢者の25.2%の912万人は仕事についていた。過去最多であり、19年連続の増加を示した。ちなみに、年齢層別の就業率は、65～69歳が50.8%、70～74歳が33.5%であり、過去最高となった。就業者全体の占める高齢者の割合は、13.6%であり、経済活動を支えている。



就業先は、小売業、卸売業、サービス業、医療、福祉の順に多く見られている。

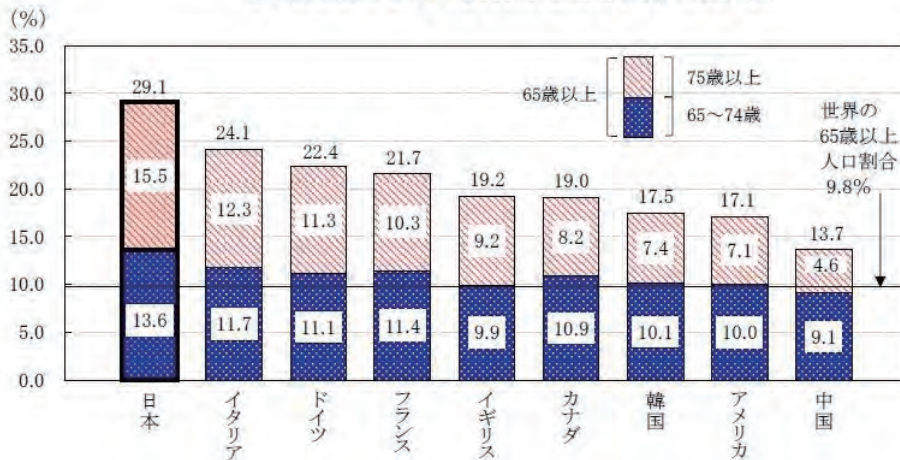
以上のように年齢層に応じて、それぞれの仕事に従事しているのが明瞭にわかる。



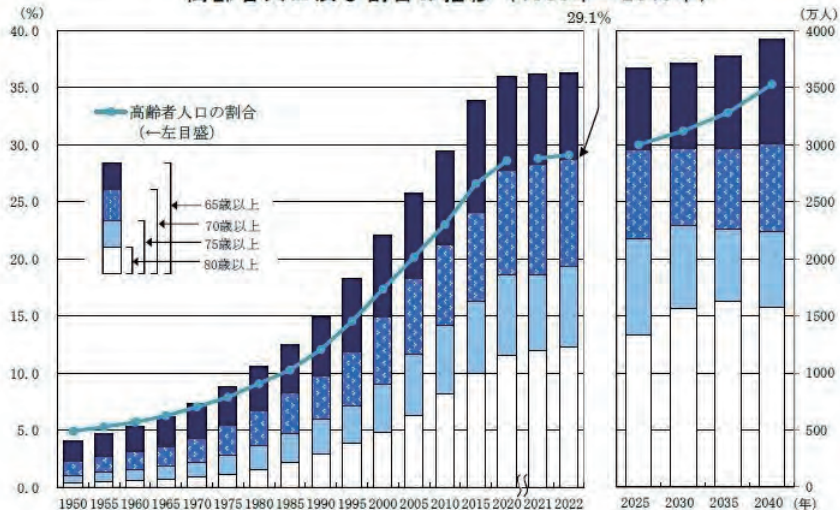
高齢者人口の割合（上位 10 か国）（2022 年）

順位	国・地域	総人口 (万人)	65歳以上人口 (万人)	総人口に占める 65歳以上人口の割合 (%)
1	日本	12471	3627	29.1
2	イタリア	5904	1420	24.1
3	フィンランド	554	129	23.3
4	プエルトリコ	325	75	22.9
5	ポルトガル	1027	235	22.9
6	ギリシャ	1038	237	22.8
7	マルティニーク	37	8	22.8
8	ドイツ	8337	1869	22.4
9	ブルガリア	678	152	22.4
10	クロアチア	403	90	22.4

主要国における高齢者人口の割合の比較（2022 年）



高齢者人口及び割合の推移（1950年～2040年）



（総務省統計局 ホームページより）